体験活動を通して、「共生社会」を意識できるようになろう！

ネイパル厚岸

ネイパルウィンターフェスティバル

1　事業のねらい

体験活動や運動に関する催しを、様々な団体と連携して行い、施設の利用促進と地域の体験活動の充実を図るとともに、多様性を認め合える社会づくりの一助とする。

2　事業の概要

■期日 R7.2.9(日)　日帰り
■対象 どなたでも
■人数 160 名
■場所 ネイパル厚岸
■協力 厚岸消防署、NPO 法人みなみなプレイス　他

3　プログラム

	10：00	13：30	14：30
2/9（日）	10：00 開始	（グルメコーナーラストオーダー） ネイパルウィンターフェスティバル （入退場自由）	14：30 終了

4　ねらいを達成するための活動の工夫

■就労支援施設との協力
・標茶町の NPO 法人と連携し、体験プログラムを提供してもらうことでそこで働いている方々の活躍する場を設定した。
・厚岸町社会福祉協議会の方々に協力していただき、高齢者と幼児児童が一緒に活動する場を設定した。
■施設と施設周辺環境を活用した体験活動の提供
・スキーシューやスノーシュー、アイス作りといった冬を体感することができるプログラムを提供した。
・ネイパル厚岸の特徴的なプログラムである室内キャンプファイヤーの設備を使い、ネイパル厚岸について知ってもらうとともに、炭火で食事を作るという体験をしてもらった。

NPO 法人の方々と蝋引きバッグを制作

スキーシューでネイパル周辺を散策

5　事業の評価

■参加者インタビューから
・スキーシューやスノーシューを人生で初めてやってみた。難しかったがなかなかできない経験をすることができた。（外ブース）
・蝋引きバッグは大切に使いたい。教えてくれた人の説明がわかりやすくて、簡単に作ることができた。（みなみなプレイスブース）
・一緒に「ぶんぶんごま」を作った。わからないところは丁寧に教えてくれて、楽しく作ることができた。（社会福祉協議会ブース）
■高齢者や障がいのある人など、様々な年齢層や特性を持っている人たちと参加者が触れ合っている様子が多く見られた。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●年齢や障がいの有無に関係なく、一緒に体験活動を行うことでお互いのことを理解したり、尊重し合ったりすることができる場を設定できた。
○団体同士、高齢者同士といった同じような立場や年齢層の人たち同士の関わりの場を設定することができなかった。団体同士の横の繋がりに特化した事業を企画する必要がある。

企画のポイント

様々な年齢層や特性を持った人達が体験活動を通して、お互いを理解したり、尊重し合ったりすることができる場を多く設定